

# 上代郷総鎮守 左右神社 境外社 櫻井子安神社 社報

## 正月を迎えて

令和二年庚子(かのえね)年の年頭にあたり、謹んで皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の御平安をお祈り申し上げます。

昨年は上皇陛下の御譲位を受け、天皇陛下が即位されました。十月二十二日に世界各国・地域・機関の代表や国内各界の代表約二千人が参列する中、天皇陛下が即位を宣明された「即位礼正殿の儀」や、十一月十四日から十五日にかけての浄闇の中、全国より選ばれた斎田から採れた米等を天皇陛下自らお供えされる「大嘗祭」といった即位にかかわる諸行事が行われたことは記憶に新しいでしょう。儀式そのものは時代とともに変化してきましたが、皇位継承の諸儀式は神々の時代の精神が息づく、我が国独自の文化と言えます。

本年は天皇陛下が即位されて初めて新たな一年を迎える年となりますが、四月には皇嗣となられた秋篠宮殿下の「立皇嗣の礼」が行われます。皆様とともに令和の御代を寿いで参りたいと存じます。

発行 左右神社 社務所

発行日 令和三年一月一日

## 子年について

「子」といえば干支の順番を決める際に、牛の背中に乗って移動し、最後に飛び降りて一番になったネズミの逸話が有名ですが、「子」という漢字にはもともと命の芽生えや増加という意味があります。またネズミは、日本を平定された大国主神を助けた神使で、子孫繁栄・五穀豊穰をもたらすとされています。

令和二年は「庚子(かのえね)」の年。木火土金水の五行の金である庚と水の性質を持つ子は互いが相乗効果で良い相性を生む「相生」の関係です。

子年は四年に一回の閏年でもあり、オリンピックが行われる年。今年はいよいよ五十六年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが行われます。



## 正月を迎える準備

新年を迎えるにあたって、一年の幸せと実りをもたらして下さる歳神さまをお迎えするために、まず家の内外を掃除する「煤払い」を行い、門松や注連飾り等の正月飾りを準備して、清々しい気持ちで新年を迎えましょう。



## 忌中(きちゅう)の場合

家庭にご不幸があった場合、一般的には五日を忌中として故人を偲び、おまつりを遠慮しますが、忌が明ければ通常の生活に戻ります。忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてからお神札を受けましょう。

## 大祓について

大祓とは記紀神話に描かれる伊弉諾尊(いざなぎのみこと)の禊祓を起源とし、知らない間に犯した罪や過ち心身の穢れ、災いを祓い清め、清らかで正常な姿を取り戻すためのお祭りです。多くの神社では年に二度、六月の夏越の祓と十二月の年越の祓が行われます。大祓詞を唱え、紙を人の形に切った人形(ひとがた)等を用いて身につけた穢れを祓い、無病息災を祈るため、茅や藁を束ねた茅の輪を神前に立てて、これをくぐります。

## 厄年について

厄年の年齢は、人の一生の中でも、体力的、家庭環境的、或は対社会的にそれぞれ転機を迎え、災厄が起こりやすい時期と考えられています。厄年の年齢になったら、厄祓いや厄除けのご祈願を受けましょう。

## 令和2年 厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成9年生)	25歳 (平成8年生)	26歳 (平成7年生)
41歳 (昭和55年生)	42歳 (昭和54年生)	43歳 (昭和53年生)
60歳 (昭和36年生)	61歳 (昭和35年生)	62歳 (昭和34年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成15年生)	19歳 (平成14年生)	20歳 (平成13年生)
32歳 (昭和64年/平成元年生)	33歳 (昭和63年生)	34歳 (昭和62年生)
36歳 (昭和60年生)	37歳 (昭和59年生)	38歳 (昭和58年生)

※数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。



## 神棚のおまつり

ご家庭の神棚に、お伊勢さまと氏神社、崇敬神社のお神札をおまつりし、日々の暮らしの中で感謝と祈りを捧げるとともに、お子さんの誕生など、ご家庭で大きな出来事があった際には、報告し、新たに迎える生活の平穏を祈りましょう。

※神棚のまつり方について詳しくは左記のQRから  
神社本庁HPへ



家内安全・身上安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。  
いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。  
ご祈願についてのお問合せは社務所まで  
連絡先 左右神社・櫻井子安神社 社務所 9:16時  
〒289-0504

千葉県旭市櫻井1264

☎0479(68)3387

☒ホームページ問合せフォームより受付